

受託研修案内

◆研修日程例

・5日間コース

日本を初めて訪問し、1週間ぐらいの滞在期間の中で日本語を使った体験を中心にしたコースデザイン例です。大阪オリエンテーリングでのタスク活動を軸に、発表のために必要な日本語等について理解・スキルを高めることができます。また、帰国後の学習につなげるため、日本語ウェブサイトやeラーニング「みなと」を使った学習方法を紹介します。

研修スケジュール表：5日間コースの例

日	午前	午後
1	コースオリエンテーション・施設案内	アイスブレイク・図書館ガイド・教材紹介
2	関西弁・大阪オリエンテーリングガイド	日本文化体験（和太鼓）
3	大阪オリエンテーリング	
4	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	日本語ウェブサイト・eラーニング学習の紹介
5	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	コース発表会・アンケート・修了式

・2週間コース

体験前にはガイドや活動準備の時間を設けて、前知識をもってから活動にのぞむようにします。場面会話を実践するだけでなく、タスクにチャレンジすることで主体的に体験・交流活動にとり組むことができ、最後には体験のまとめとしての発表会も実施します。

研修スケジュール表：2週間コースの例

日	午前	午後
1	コースオリエンテーション・施設案内	アイスブレイク・図書館ガイド・教材紹介
2	関西弁・大阪オリエンテーリングガイド	日本文化体験1（書道）
3	大阪オリエンテーリング	
4	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	日本語ウェブサイト紹介
5	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	大阪オリエンテーリング発表会
6	自由行動日	
7	自由行動日	
8	eラーニング学習紹介	日本文化体験2（和太鼓）
9	若者ことば	研修旅行ガイド（京都）
10	京都研修旅行	
11	京都研修旅行のまとめ	最終発表会準備
12	最終発表会	研修のまとめ・アンケート・修了式

・6週間コース

海外で日本語を学んでいる大学生が来日して、学んできた日本語を使ってみるためのコースデザイン例です。トピック別資料に基づいて日本・日本人について、ディスカッションをしながら異文化理解を深める「日本理解・ディスカッション」、自国の文化や習慣などを紹介する「スピーチ」、日本や日本人についてのグループインタビュープロジェクトを行う「インタビュー」などの日本語授業は、体験・交流活動と有機的に結びついています。

研修スケジュール表：6週間コースの例

週	午前	午後
1	コースオリエンテーション・施設案内	プレースメントテスト・アイスブレイク・図書館ガイド
	コース開始時学習相談（個別インタビュー）	自己目標・大阪オリエンテーリングガイド
	大阪オリエンテーリング	
	自由行動日	
	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	日本文化体験1（書道）
	大阪オリエンテーリングのまとめ・発表準備	大阪オリエンテーリング発表会
	日本理解とディスカッション1（日本のイメージ）	スピーチ1
2	日本理解とディスカッション2（伝統行事）	スピーチ2
	日本理解とディスカッション3（仕事）	教材紹介
	自由行動日	
	自由行動日	
	日本理解とディスカッション4（教育）	スピーチ3
	インタビュー1	日本文化体験2（和太鼓）
	インタビュー2	日本語ウェブサイト紹介
3	研修旅行ガイド（京都）	スピーチ4
	京都研修旅行	
	自由行動日	
	自由行動日	
	研修の振り返り（中） 京都研修旅行のまとめ	スピーチ5
	日本理解とディスカッション5（教育）	スピーチ6
	インタビュー3	スピーチ7
4	日本理解とディスカッション6（大学生）	eラーニング学習紹介
	大学訪問（インタビュー交流会／スピーチ発表会）	
	自由行動日	
	自由行動日	
	インタビュー4	スピーチ8（フィードバック）
	インタビュー5	日本文化体験3（茶道）
	日本理解とディスカッション7（ポップカルチャー）	日本理解とディスカッション8（まとめ）
5	インタビュー6	インタビュー交流会（地域の方々）
	インタビュー7	研修旅行ガイド（広島）
	自由行動日	
	自由行動日	
	最終発表会準備	
	最終発表会準備	最終発表会
	最終発表会フィードバック	日本文化体験4（華道）
6	広島研修旅行	
	広島研修旅行	
	自由行動日	
	自由行動日	
	研修旅行フィードバック	自己評価と継続学習の目標設定
	コース終了時学習相談（個別インタビュー）	コース評価アンケート・修了式・歓送会
	帰国	

◆所要経費概算（2週間タイプ）（例）

（金額単位：円）

項目	単価		人数		回数	金額	精算方法	備考
〈Ⅰ. 研修必須経費〉								
1. 研修施設利用料	3,000	×	10	×	13	390,000	単価	施設利用泊数ベース（13泊14日）
2. 日本語講師人件費 （1コマ当たり）	5,000			×	32	160,000	単価	日本語研修1日5時間（午前3時間＋午後2時間）4日＋午前3時間×4＝計32時間として計算
3. 食費（※1）								・支給額を調整することも可能です。
（1）朝食費	600	×	10	×	13	78,000	実費	1食当たり600円。1日目を除く13回分。
（2）昼食費	1,000	×	10	×	14	140,000	実費	センター通常支給上限額。14回分。
（3）夕食費	1,400	×	10	×	13	182,000	実費	当センター通常支給上限額。14日目を除く13回分。
4. 教材・雑消耗品								・支給額を調整することも可能です。
（1）教材費	5,000	×	10			50,000	実費	
（2）雑消耗品費	2,500	×	10	×	2	50,000	実費	1週間当たりの基準額。
〈Ⅱ. オプションプログラム経費〉								
5. ホームビジット（日帰り）謝金	3,500	×	10	×	1	35,000	単価	ホームビジット先への謝金及び研修参加者交通費
6. 日本文化体験プログラム								
（1）講師謝金	12,000	×	1	×	2	24,000	実費	書道、茶道、華道、着付け、和太鼓、合気柔術より選択（科目により謝金が異なります）。
（2）材料費等	1,500	×	11	×	2	33,000	実費	講師分材料費含む。
7. 京都研修日帰り経費・近距離交通費								
（1）京都（施設入場料）	500	×	10	×	3	15,000	実費	清水寺、金閣寺、龍安寺等を見学予定
（2）京都（交通費）	120,000	×	1			120,000	実費	バス1台1日借り上げ費
（3）大阪オリエンテーリング	2,300	×	10	×	1	23,000	実費	大阪周遊バス（南海拡大阪）購入費
（4）エスコート料金	21,000				1	21,000	実費	京都研修旅行1日分
（5）随行者経費	5,000					5,000	実費	随行者職員、エスコート入場料及び食費
（6）旅行代理店手数料						9,200	実費	研修旅行に係る金額全額に対する5%相当額。
8. 歓送会経費	4,000	×	20	×	1	80,000	実費	人数は研修生及び外部関係者（ホストファミリー）の参加を見込んだ数字。
小計（A）						1,415,200		
税抜金額（B = A×100/110）						1,286,545		
運営管理費（C = B×30%）※比率については※2参照。						385,963		
消費税（D = (B+C)×10%）						167,250		
合計（B+C+D）						1,839,758		

（注）受託研修前提条件

※ 1 食費は当センター支給基準に基づき計上しています。実食に基づく実費精算になっています。

※ 2 運営管理費はプログラムの内容によって異なります。

①10%：宿泊室を含む当センター施設利用、日本語に関する講義のみをセンターが請け負うとき。

②20%：上記①の内容に加え、個別面談など日本語学習に関するアドバイス・調整業務、日本文化・社会に関する講義、講義を除くセンター内での日本語研修関連活動（アイスブレイクなど）をセンターが請け負うとき。

③30%：上記①及び②の内容に加え、日本文化体験の設定、日本国内への研修旅行、施設の特別対応（研修室の仕様変更、清掃料の発生、備品の特別手配等）など、上記①及び②以外の業務をセンターが請け負うとき。

但し、学校等からの受託により、研修参加者が全員学生である場合は、上記比率の1/2の比率を適用させていただきます。